

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名		戸籍事務連絡協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	財津 幸泰	
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名	中嶋 民智	
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班	(内線)	1112	
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11093	法令根拠	戸籍事務協議会会則		成果優先度評価結果	⑫
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・戸籍、住民基本台帳事務に関する研究決議・戸籍、住民基本台帳事務に関し関係各庁に対する建議及び答申・戸籍、住民基本台帳事務に関する印刷物の刊行及び配布・戸籍、住民基本台帳事務に関する功労者の表彰・その他、本会の目的を達成するために必要な事業・戸籍事務に係る市町村との連携強化
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・負担金の納入・協議会、研修会への参加・文書、資料の作成
【主な予算費目】	①旅費(特別旅費)②負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
戸籍事務に関する研修を受講することにより、専門知識を身につけた。	22年度に同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 総会、研修会の回数	回 熊本地区戸籍住民基本台帳事務協議会から阿蘇大津地区戸籍住民基本台帳事務協議会へ移行したことによる負担金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
熊本県内の戸籍事務に係る市町村長と職員。	(単位) 人
→ ア 職員	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
事務の改善と会員相互の連携を強化する。職員としての専門知識の習得。	(単位) %
→ ア 研修を受講し専門知識を習得した割合	→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
研修を受講し専門知識を習得することで住民サービスを向上させるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	回	2	18	16	18	16	16	16	
	イ									
	ア	人	24	23	24	23	24	24	0	
② 対象指標	イ									
	ア	%	100	100	100	100	100	10	0	
③ 成果指標	イ									
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	95	90	50		46	46	46
		繰入金	千円							
		一般財源	千円				33			
人件費	(A) 事業費計	千円	95	90	50	33	46	46	46	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	33	18	30	30	30	
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2	4	4	6	4	4	4	
総計	延べ業務時間	時間	136	178	178	272	178	178	178	
	(B)人件費計	千円	544	708	708	1,120	733	733	733	
トータルコスト(A)+(B)		千円	639	798	758	1,153	779	779	779	

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	戸籍事務連絡協議会参画事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・専門知識を習得するために積極的に研修等への参加をする予定である
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・事務処理向上に必要であるため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・法定受託事務の資質向上のためであり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金や最低限の旅費などの必要経費であり、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・法定受託事務の事務処理向上のためであり、縮小することはできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・職員が研修することで、適正な戸籍事務が行えており公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・職員の専門的知識習得であるため。他への移行はできない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・専門的な知識を習得するために、積極的に研修等に参加でき、住民サービス向上に繋がった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						